

鑄物の街くわな巡り



桑名のはまぐり、伊勢大橋、七里の渡しなどが描かれた色とりどりのマンホールが見られる。



住吉入江にかかる、暴風時などの船舶を避難させるための昇開橋。高欄支柱が鑄物製。



鹿鳴館の設計で有名なイギリス人建築家ジョサイア・コンドルによる設計。和洋の様式が調和した貴重な文化遺産であり、国の重要文化財に指定されている。



熱田・宮の渡しから海上七里を船に乗って渡った桑名の渡船場。



独特の兜（鹿角籠立兜）と、天下三名槍と呼ばれた槍、蜻蛉切（とんぼきり）に注目。

鑄造報国の石碑



昭和17年(1942年)に建てられた、「鑄物の街くわな」が感じられる石碑。

藩主松平定重が、鑄物師辻内家に日本一の青銅鑄物の鳥居にするよう命じて造らせたものと言われる。同神社で8月に行われる石取御神事は天下の奇祭として有名。



桑名市認定キャラクター ゆめ はまちゃん

MARUDE Co.,Ltd.

現在のくわな鑄物

「鑄物の街くわな」には、八間通りのマンホール蓋、九華公園の本多忠勝像、住吉入江にかかる玉重橋の高欄支柱、春日神社の鳥居など、沢山の鑄物が「鑄物の街」をアピールし存在感を放っています。

現在「くわな鑄物」の種類は多岐にわたっています。かき氷機・業務用ガスコンロなどは、全国においても大きなシェアを占めています。工作機械、電気機械、建設機械などの機械用の素形材鑄物や、マンホール蓋などの土木建設用鑄物の生産も盛んに行っています。また、デザイン性や機能性に優れた鑄物の開発にも取り組んでいます。

「鑄物の街くわな」で生産された「くわな鑄物」は、国内はもとより、商品として、あるいは輸出する機械の部品となって世界中で使用されています。



かき氷機

業務用ガスコンロ

家庭用鑄物

株式会社マルデ鑄器

〒511-0225 三重県いなべ市員弁町西方538-2 [TEL] 0594-74-5613 [FAX] 0594-74-4839 [mail] info@marude-chuki.co.jp [HP] https://marude-chuki.co.jp/



MARUDE Co.,Ltd.



くわな 鋳物



「くわな 鋳物」のはじまり

東海道五十三次の城下町 くわな

三重県北部に位置する桑名市は、揖斐・長良・木曾の三川が注ぐ伊勢湾に面し、西に鈴鹿連峰、北に養老山系や、濃尾平野が広がる水と緑豊かな自然に恵まれています。東海道五十三次の日本橋から数えて42番目の宿場町、城下町、港町として栄えました。そのような交通の要所にあり、「くわな 鋳物」はその利便性を活かして、桑名およびその周辺で発展してきました。

鋳物(いもの)って何?

いろいろな方法で成型した型に、高温で溶かした金属を流し込む製法です。古くは弥生時代の銅鐸や、飛鳥時代の和同開珎の頃から伝わる金属製法ですが、現代でも技術開発が行われ多岐にわたる製品が造られています。

「くわな 鋳物」の起源 東国一の勇士 本多忠勝

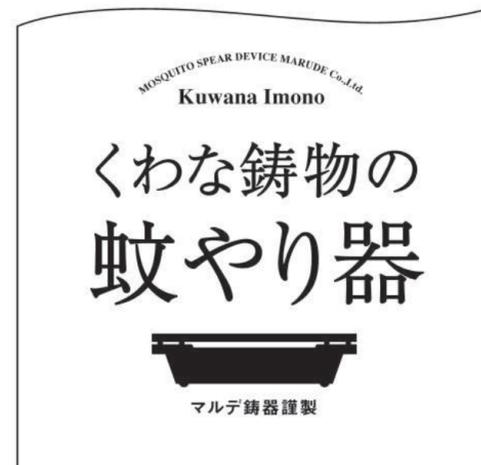
慶長六年(1601年)、徳川四天王の一人に数えられた本多忠勝公が、伊勢国桑名藩十萬石の初代藩主となりました。「くわな 鋳物」は忠勝公からの鉄砲の製造の命を受け、藩の奨励策のもとで、本格的な、生産が始まったと言われています。

日本随一の青銅鳥居

江戸時代、桑名には朝廷より鋳物製造を許可された、辻内家をはじめとする三軒の「御鋳物師」(おんいもじ)が存在していたと伝わっています。「勢州桑名に過ぎたるものは銅の鳥居……」と里謡に歌われたという春日神社の青銅鋳物の鳥居は、高さ約7m、幅約6mで、その堂々たる威容は、旅人の目を驚かせたと伝えられています。この鳥居は、寛文七年(1667年)当時の藩主松平定重公の命を受け、御鋳物師 辻内善右衛門により鋳造されたもので、桑名の名物として今も昔を物語ります。

「くわな 鋳物」の飛躍

古くから伝わる鋳物の技法のうち、天然産の砂を使って造形する生型法(なまがたほう)は、新しい砂を補給しながら、鋳物を低コストで造るために普及した製法です。明治20年(1887年)、桑名に隣接する地域(現在の三重県三重郡朝日町小向)で生型法に適した鋳物砂が発見されたことによって、鋳物の大量生産が可能となり、「くわな 鋳物」が躍進する大きな原動力になりました。この明治期は、銑鉄を使用した鍋釜・焚口・アイロンなどの家庭用品を生産するようになり、そして明治36年(1903年)から、製麵機や水道器具など、機械鋳物の製造も始まり、わが国の主要な鋳物産地へと成長しました。



鋳物職人が生み出す 夏のワンシーン

蚊やり器のこだわり



フタは4点でしっかりと固定

高さはわずか43mmと薄型なため
きちんと安定

伊勢の伝統工芸である「伊勢型紙」の意匠をイメージするような、夏の風景をモチーフにした図柄を8種類ご用意しました。モダンなリビングから和風のお座敷、寝室など、様々なご家庭の場所で。縁側や庭のお手入れをされる時にも、シーンを選ばずお使いいただけます。風情ある蚊やり器をお楽しみください。

製品仕様 ■寸法/幅・奥行:約164mm×高さ:約43mm ■重量/約1.7kg ■原材料/本体・蓋:鋳鉄、線香装着部:ステンレス
■生産地/三重県いなべ市 ■備考/重量は蓋の種類により異なります。上記重量は「朝顔」デザインによる参考計測量です。

もっと鋳物の楽しさを知ってほしい

桑名の水郷花火大会を連想させるデザインなど、夏のイメージにぴったりです。また、電気や電池を使わないエコグッズとして注目を浴びています。



株式会社マルデ鋳器 出口 大介

蚊やり器の特長

職人が熟練の鋳物生産の技術力を発揮し、ひとつひとつ手作業で丁寧に生産されています。鉄鋳物で製作したことで本体の重量は1.7kgとずっしり重く、蓋の部分だけでも700gを超えるため、火のついた蚊取り線香をしっかりと守ってフタをしてくれます。広い底面積、しっかり4つの脚で自立してくれること、そして高さはわずか4.3cmと薄型で、床に置いたときにきちんと安定します。



ステンレス製固定パーツは
本体に固定されており
先端は丸くて安全



内側がスズで汚れても
手早く洗えていつも清潔

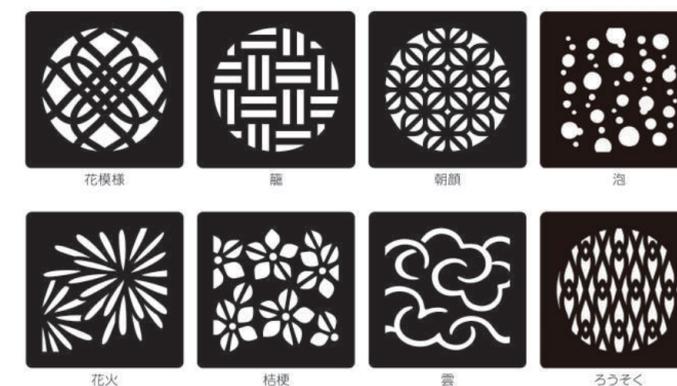
フタ模様は
好みに合わせて8種類より

日本の夏を彩る、
着物柄のような蚊やり



日本の夏の風物詩でもある蚊取り線香の香り。その蚊取り線香を入れる『蚊やり器』を鋳込みで造りました。安定感のある、倒れにくい形状と、落としたりぶつかけたりしても割れない素材で縁側をつつましく飾ります。

バリエーション豊富な8つのデザイン



ゆめはま
ちゃんの声

季節を感じる蚊やりは
いかがですか?

夏をイメージした涼しげなデザイン。蓋からたちのぼる白い煙に、夏を感じずにはられないのです。風情ある絵柄は8種類、こんなにあと迷っちゃいますね。好きな絵柄を選んで、お気に入りの場所でくつろいでみてはどうでしょうか。どんなインテリアにも合うので、大切な方への贈り物としても最適です。くわな 鋳物の蚊やり器が織り成す、夏のひととき。わたしのおすすめです。



ゆめはまちゃん
夢見るはまぐりの女の子。桑名市のゆるキャラとして活躍中。年齢と体重はヒミツのちょびり照れ屋さん。